

事例17

< 事例概要 >

- ・ 70 歳代、虚血性心疾患、冠攣縮性狭心症、高血圧、睡眠時無呼吸症候群（SAS）の患者。BMI 22.5 kg/m²。
- ・ 心室期外収縮に対し、イリゲーション電極カテーテルを使用しアブレーションを実施。治療 2 日後に退院した。
- ・ 治療約 1 週間後に呼吸困難のため外来を受診し、心臓超音波検査で心タンポナーデを認め再入院した。心嚢穿刺を実施し、心嚢液の再貯留を認めず退院した。
- ・ 治療約 3 週間後、意識障害、いびき様呼吸のため救急搬送となり、再発性の心タンポナーデに対し心嚢穿刺を実施中に心停止となった。開胸止血術を実施したが、治療約 1 か月後に死亡した。
- ・ 死因は、左室穿孔による遅発性心タンポナーデ。解剖有、死亡時画像診断（Ai）無。